

東京23区が
見える。わかる。

2025 Autumn

Vol.61

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特 集

**23区と地方自治の専門図書館
特別区自治情報・交流センター 20周年**



センター内レイアウト



2025 (令和7)年
秋に「大森彌記念文庫」が
オープンします。



所蔵資料 **12万2千冊**

- ▶ 23区の行政資料 69,200 冊
- ▶ 東京都の行政資料 9,900 冊
- ▶ 地方自治に関する雑誌 23,600 冊
- ▶ 地方自治に関する一般図書 7,300 冊
- ▶ 社会・科学系の一般図書 9,500 冊
- ▶ その他 2,500 冊

(2025年3月現在)

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

コマなく さんぽ



特別区自治情報・交流センター

23区と地方自治の専門図書館

「特別区自治情報・ 交流センターが 20周年を迎えました」

特別区自治情報・交流センターの 成り立ち

特別区自治情報・交流センターは、公益財団法人特別区協議会が設置している、23区と地方自治に関する専門図書館です。

協議会は、1947(昭和22)年5月、現憲法施行と同時期に発足して以来、23区の円滑な自治の運営とその発展に寄与するという目的の下、自治権拡充運動の事務局をはじめ、会議の場の提供、特別区制度の調査研究、特別区に関連する資料の収集・提供を行ってきました。

2000(平成12)年の都区制度改革により、23区が「基礎的な地方公共団体」として法に位置付けられ自治権拡充運動が一定の到達点を迎えたこと等を機に、協議会事業の見直しを行い、2005(平成17)年の東京区政会館の飯田橋への移転に合わせてセンターを開設し、2010(平成22)年には公益財団法人の認可を受け、制度改革後の特別区の発展に寄与するべく事業を展開しています。

自治を知り考える場として

センターは、23区や都内自治体が発行した冊子、協議会の編纂書籍のほか、23区の変遷を視覚的に捉えられる古地図や歴史的図書、今の行政が抱える課題を把握できる出版物や雑誌など、12万点を超える資料を揃え、閲覧・貸出のほか、協議会ホームページで一部を公開しています。これまで、本紙でも毎号「所蔵資料 蔵出し」で資料の紹介をしてきました。

センターは、今後も着実な資料の収集・所蔵と、これまで蓄積してきた情報資源の管理・保存を継続していくとともに、昨今の社会情勢を捉え、資料のデジタル化を推進していくことで、より多くの方に特別区や自治に関する情報を提供していきます。

日々の生活に密接な自治を知り考える場としてセンターをご活用いただければ幸いです。皆様のご来館をお待ちしています。



「大森彌記念文庫」がオープンします

2025(令和7)年秋には、特別区の自治の発展に大きな貢献を果たされた故大森彌東京大学名誉教授の著作等について、ご遺族からの寄贈とセンター所蔵図書を合わせた「大森彌記念文庫」がオープンします。

23区の自治権拡充に関連する貴重な資料として記念文庫をぜひご覧ください。



History²⁰⁰⁵⁻²⁰²⁵ 特別区自治情報・交流センターの20年の振り返り

黒字:世の中の出来事 赤字:23区の動き 青字:協議会・センター関連

2005(平成17)

- 愛知万博(愛・地球博)
- 飯田橋到新東京区政会館竣工・移転
- 特別区自治情報・交流センター開設
- 首都大学東京(東京都立大学)との共同事業「オープンユニバーシティ 飯田橋キャンパス」オープン

2006(平成18)

- 清掃事業職員の都から区への身分切替
- 各区有償刊行物受託販売開始



2007(平成19)

- 第1回東京マラソン開催
- みどり東京・温暖化防止プロジェクトスタート～東京都内62区市町村の共同宣言を採用
- 第二次特別区制度調査会が特別区長会へ報告ー「都の区」の制度廃止と「基礎自治体連合」の構想



2008(平成20)

- 後期高齢者医療制度開始
- 特別区制度懇談会、特別区制度研究会発足

2009(平成21)

- 「ふるさと納税」制度開始
- 裁判員制度開始
- 『東京五拾区縮図』を蔵書に追加



2010(平成22)

- 公益財団法人に移行
- 特別区制度改革10周年記念シンポジウム「時代の転換と自治の創造ー自治体職員のミッション」開催



2011(平成23)

- 平成23年東日本大震災
- なでしこジャパンがサッカーW杯初優勝
- 東日本大震災被災自治体への職員派遣
- エコプロダクツに初出展
- とくべつクマ初お披露目



2012(平成24)

- 東京スカイツリー開業
- 所蔵資料貴重図書キャンペーン実施



2013(平成25)

- 富士山が世界文化遺産に登録
- 東京国体(第68回国民体育大会)
- エコプロダクツ2013で優秀賞受賞
- 風俗画報全518巻を蔵書に追加



2014(平成26)

- 消費税8%に
- 特別区全国連携プロジェクト始まる
- 「デジタル古地図」公開スタート



2015(平成27)

- マイナンバー制度開始
- 「大阪都構想」住民投票
- 基本テキスト全4巻完結(東京23区のおいたち・ふしぎ・しくみ・わくぐみ)



2016(平成28)

- 平成28年熊本地震
- 北海道新幹線開通
- 国立西洋美術館が世界文化遺産に登録
- 熊本地震被災地へ職員派遣
- 『「大都市地域特別区設置法」に基づく特別区制度設計の記録」刊行



2017(平成29)

- 改正児童福祉法施行政令で定める特別区が児童相談所を設置できるようになる
- 特別区自治情報・交流センターブックレット全5巻完結



2018(平成30)

- 平成30年北海道胆振東部地震
- 特別区長会調査研究機構発足
- 特別区講座「古地図で読み解く『江戸から東京へ』」実施



2019(平成31/令和元)

- 「令和」に改元
- 消費税10%に

2020(令和2)

- 新型コロナウイルス感染症が世界的に流行
- 「大阪都構想」2度目の住民投票
- 特別区児童相談所設置開始
4月:世田谷区、江戸川区 / 7月:荒川区(2025年現在:10区設置)
- 特別区協議会事業部 YouTubeチャンネル開設
- 新型コロナウイルスによる臨時休館、開館時間短縮



2021(令和3)

- 東京オリンピック・パラリンピック開催(無観客開催)
- 東京大都市地域の物語 全5巻完結
- 特別区自治情報・交流センター公式X(旧:Twitter)運用開始



2022(令和4)

- ロシアがウクライナに侵攻
- 東京区政会館別館竣工
- 「東京都五千分之一地図」を蔵書に追加
- 小学生向け特別区制度紹介冊子シリーズ



2023(令和5)

- 新型コロナウイルス感染症5類へ移行 感染症対策が緩和される
- 「ゼロカーボンシティ特別区」共同宣言
- 「東京23区のことを知りたい人に」発行
- 「特別区紹介動画」の作成・公開



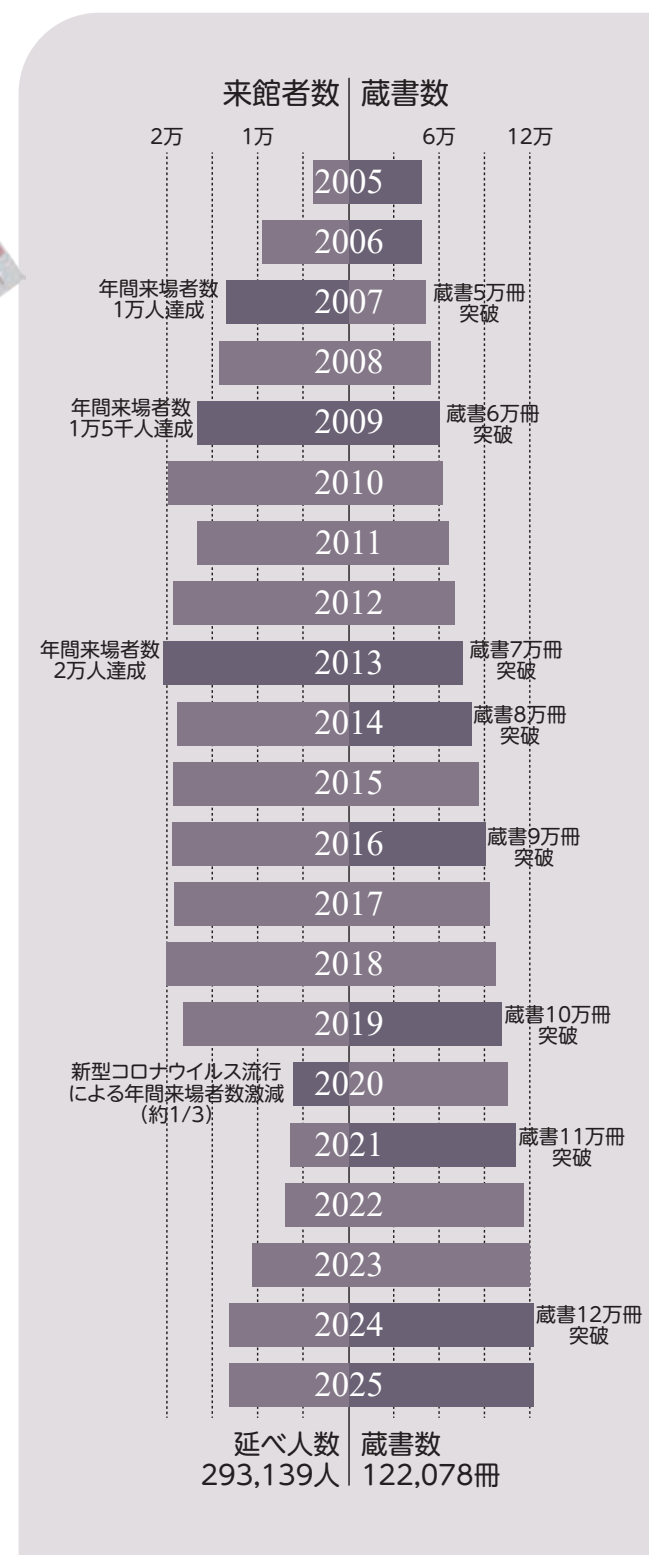
2024(令和6)

- 令和6年能登半島地震
- センター交流事業として「交流フォーラム」を開始
- 『法令全書』全巻が揃う
- 「特別区制度の行路 法制関係資料集」シリーズ創刊(全5期予定)



2025(令和7)

- 大阪・関西万博
- 東京デフリンピック(予定)
- 「大森彌記念文庫」開設(予定)





区政春秋

特別区協議会 発行
1953(昭和28)年~1971(昭和46)年発行



この資料は特別区協議会の機関誌であり、発行当時の特別区長会会長(目黒区長)である廣瀬俊吉氏によれば、「特別区関係者はもとより、東京都、政府、国会及びその他の団体からも博く識見を求め、その研究発表の機関誌」となることを期待して刊行されました。

識者による特別区制度・自治権拡充についての論考や提言、職員による特別区政についての随筆等を通して、当時の特別区をめぐる地方自治の動きや行政課題等を伺い知ることができます。

なお、本誌の一部は協議会ホームページでもご覧いただくことができます。ホームページ掲載記事には、明らかな誤植や現在から見ると問題と思われる表現がありますが、当時の時代背景を反映した歴史的価値を考慮して、原文のまま掲載しています。



東京都五千分之一地図

社団法人復興土地住宅協会 著
1952(昭和27)年発行



この資料は、東京23区の地域が95枚に分割され、1/5,000の縮尺で詳細に表されたものです。

当センターで所蔵しているものは95枚が完全に揃っている非常に貴重なもので、戦後の東京を知るうえで大変有意義な資料です。

この地図の中には、

- ・復興期にがれき処理のために埋め立てられた川
- ・高層ビルが立ち並ぶ場所にかつて存在した浄水場
- ・現在と同じ場所に存在する区役所の庁舎

など、色々な「かつて存在したもの」と「変わらないもの」を発見することができます。



特別区自治情報・交流センターのご案内

開館時間・休館日

開館時間: 月曜日～金曜日: 9:30～20:30 土曜日: 9:30～17:00

休館日: 日曜日、祝日、年末年始、その他特別休館日あり

※ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

利用ガイド

利用者カード

- 貸出と予約には「利用者カード」が必要です。
- 住所の確認できるもの(運転免許証等)をお持ちのうえ、カウンターでお申込みください。

貸出・予約

- 資料の一部は貸出できます。
- 一人3冊、期間は2週間までです。
- 返却は、カウンター又は郵送(送料自己負担)でお願いします。
- 予約は、カウンター又はホームページからできます。



コピーサービス

- 著作権法に基づいた当館の基準の範囲内でコピーできます。
- 白黒1枚10円、カラー1枚30円です。

レファレンスサービス

- 必要な情報を探すお手伝いをいたします。お気軽にカウンターまでお声かけください。

蔵書検索

- 館内のパソコンで資料の検索ができます。
- ホームページからも検索できます。



23区刊行物の販売

- 23区や特別区協議会の刊行物、特別区職員ハンドブックなどをカウンターで販売しています。

デジタルアーカイブ

- 古地図や歴史的資料の一部をデジタル版としてホームページで公開しています。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター(とくべつクマ)

X(旧Twitter)公式アカウント @tokubetsukuma23



(公財)特別区協議会の二次元コード



特別区自治情報・交流センターの二次元コード



Xの二次元コード

編集後記

23区と地方自治の専門図書館として、12万冊を超える所蔵資料をご用意し、ご来館をお待ちしています。

ホームページもぜひご覧ください。



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩2分